



和水総第250号
平成19年5月2日

国土交通省道路局長 様

熊本県和水町長 坂梨豊昭



中長期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号により依頼のあった標記の件について、下記のとおり意見を提出します。

記

1. 道路整備の必要性

九州は東アジアの玄関口に位置し、アジアとの交流の増大が予想されます。これら交流促進のためには、九州管内の移動のための基盤である交通網、特に道路の整備は不可欠であります。

特に、熊本県は阿蘇、天草に代表される多くの観光資源に恵まれ、多くの東アジア諸国民が来邦しています。また、熊本市と中国桂林市、和水町と韓国公州市などの姉妹都市締結など今まで培ってきた交流経験があります。

さらに、今後のアジアの成長を視野に入れ、自動車産業を中心とする製造業の伸張が著しく、関連産業の発達や物資の移動が盛んになり、経済交流が盛んになることが予想されています。

これら、産業基盤を支える社会資本である道路の整備は必要不可欠であります。特に、産業関連物資等の移動の迅速化を図るためには、高速交通網の整備はもちろん、高速道路ICや交通結節点である空港・港湾と内陸部を結ぶ高規格道路の整備が必要不可欠です。

また、地域の基幹道路（一般国道や県道）の整備は、地域産業や医療、通勤通学、買い物移動など私たちの生活と密着した道路であり、新設を含め道路の拡幅、安全対策を求められています。

特に、中山間地域、過疎地域においては公共交通機関が未発達であり、一家に数台（免許所有者1人に一台）の自動車を所有し、通勤、買い物、通院に利用している状態。自動車は生活必需品になっています。これらのことから、安全に安心して目的地に到達するための道路整備は、生活するうえで必要不可欠です。

2. 道路整備が必要な路線等

①広域的視点に立った道路整備

- 交通結節点である空港と高速道路を結ぶ道路として、「熊本空港—南関IC」間

の高規格道路の早期整備

- 福岡県筑後地域と熊本県玉名地域を結ぶ「八女・立花—和水」間のトンネル整備（当該路線は、農産物の流通や温泉客を含む観光事業など、福岡との経済交流の上で重要路線であるが、幅員が狭くカーブが連続し危険であり、時間短縮のためにはトンネル整備が必要です。）

②地域経済、住民生活にとって重要な道路

- 玉名郡和水町においては、合併時に策定した新町建設計画の重点プロジェクトのひとつとして「交流・対流促進プロジェクト」を掲げ、都市との交流による地域の活性化に取り組むこととしています。
- 特に、九州最大の都市である福岡都市圏や熊本都市圏との人・物・情報の交流による活性化を目指しています。

ア. 福岡都市圏との交流には、主に九州自動車道路と国道3号、国道208号が骨格をなし、それらと和水町を結ぶ道路や平成23年の九州新幹線全線開業に伴う新駅（新玉名駅、新大牟田駅）へと通じる道路の整備が必要になります。

具体的には、熊本空港と南関インターチェンジを結ぶ高規格道路の早期着工により、福岡方面から山鹿温泉、菊池温泉、阿蘇地方とを結ぶ、観光振興の幹線道路となるものです。

イ. 生活に密着した道路

国道443号、主要地方道玉名山鹿線、主要地方道大牟田植木線、主要地方道玉名立花線、主要地方道玉名八女線、県道和仁山鹿線、県道和仁菊水線、県道竈門・菰田・山鹿線が和水町を通過しています。

- * 大牟田植木線は、2車線化・歩道の設置と併せて内藤橋の改良が必要です。
道路幅員が狭く、カーブの連続で現在の交通量への対応には限界が生じつつあり、また、児童生徒の通学路でもあることから子どもの命が脅かされる状況になっています。
特に、内藤橋は幅員が狭く、歩道もなく、通行に危険な橋梁です。早期の架け替えが望まれる橋梁です。
- * 玉名山鹿線は、菊水江田地区の道路拡幅と対岸の玉名立花線の改良が必要です。
この道路は、菊水インターチェンジから玉名温泉、阿蘇などの観光地を結ぶとともに、新幹線開業後は新玉名駅と観光地を結ぶ重要な観光道路として位置付けられます。現状では、朝夕の通勤時間帯には約1Km以上の渋滞が日常的に発生し、住民生活に支障を来していることから、新幹線新玉名駅開業までに当該道路の拡幅や菊池川対岸を走る玉名立花線の改良等の手当てが必要な道

路です。

- * 和仁山鹿線、玉名立花線は、2車線化と歩道の設置が必要です。

この道路は、山鹿市や阿蘇方面と南関インターチェンジを結ぶ県道です。この路線沿いには温泉地が点在し、福岡方面からの温泉客が多く訪れています。また、小・中・高校生の通学路でもあります。

慣れない県外道路を通行する他県ナンバーの自動車の通行が多い路線ですが、2車線が進められているものの、幅員が狭く、しかも歩道が整備されていない区間が多い道路で、離合困難箇所の解消と全線歩道設置が望まれます。

- * 玉名立花線、玉名八女線、和仁菊水線、竈門菰田山鹿線は、2車線化・歩道整備と併せて菰田橋の改良、県境トンネルの整備が必要です。

これらの道路は、いずれも和水町内を南北に縦貫し、福岡県筑後地方(八女市、立花町、筑后市など)と本県玉名地方を結ぶ道路で、和水町にとって合併後の一体性の確保と役場本庁・支所の連絡、町民生活に最も重要な道路です。

しかし、いずれの道路も2車線化・歩道設置が遅延しており、住民生活の多大な影響を及ぼしている道路です。通勤・通学・通院をはじめ住民生活に最も密接でしかも重要な3路線です。

特に、和仁菊水線・竈門菰田山鹿線の拡幅と菰田橋の架け替えなくしては、合併後の住民交流を含め一体的な発展が望めない状況です。

また、福岡県南部と玉名地域を結ぶ重要な道路であることから、県境を越えた住民同士の交流や経済交流の活性化のための県境トンネルの整備が望まれます。

町民生活にとって身近な道路(県道や町道)は、住民生活のあらゆる場面で利用され、その利便性を提供しています。しかし、安全で安心して利用できるとはいいがたい現状にあり、地域住民からは、更なる整備の必要性が訴えられています。

和水町では行政の責務として、地域住民の安心安全を確保しなければならないと痛感し、今後とも道路の整備には最大限の努力を傾注しなければならないと考えています。

国土交通省におかれては、地域の声を反映された道路行政の執行を切にお願いするものであります。